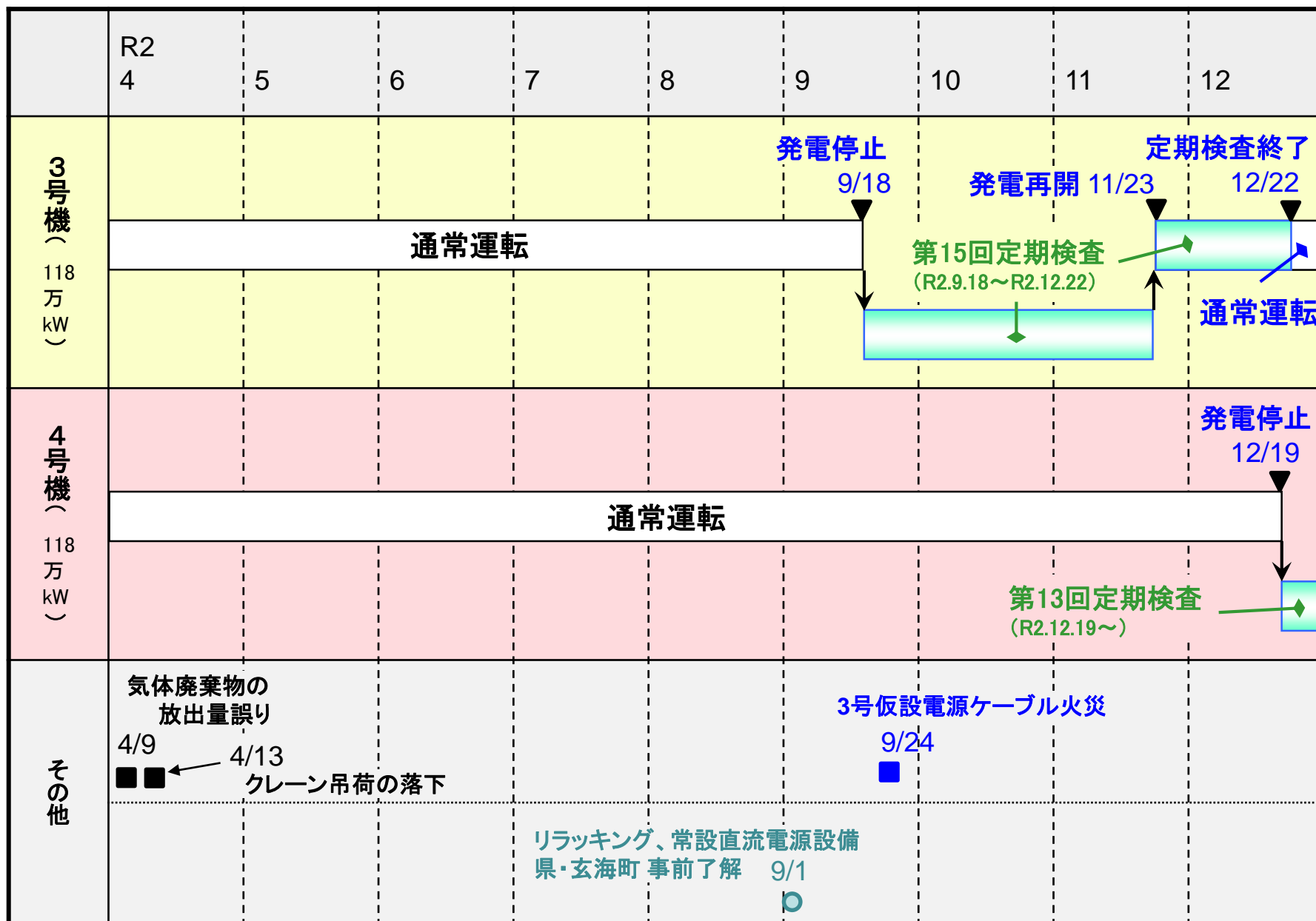


玄海原子力発電所の運転状況等について (令和2年4月～令和2年12月)

令和3年1月19日
原子力安全対策課

(1)経過(令和2年4月～令和2年12月)



(2) 3、4号機の発電状況(令和2年4月～12月)

	3号機	4号機	合計
電気出力 (MW)	1,180	1,180	2,360
発電電力量 (億kWh)	59.5	74.8	134.3
利用率※ (%)	76.4	96.1	86.2

$$\text{※ 利用率} = \frac{(\text{発電電力量})}{(\text{暦時間}) \times (\text{設備容量})} \times 100(\%)$$

(3) 1、2号機の廃止措置の実施状況

①第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

	R2 4	5	6	7	8	9	10	11	12
1号機									
	汚染状況の調査(H29.8.29～)								
	汚染のない設備の解体撤去(H29.11.1～)								
		県・玄海町 事前了解 (計画変更)	6/8 ●						
2号機		県・玄海町 事前了解	6/8 ●						
						汚染状況の調査(R2.8.17～)			
				汚染のない設備の解体撤去(R2.6.29～)					

(3) 1、2号機の廃止措置の実施状況

②解体撤去物の発生状況(令和2年12月末時点)

【1号機】

種 類	発生量(トン)		処分量(トン)		期末保管量 (トン)
	4月～12月	累計(※)	4月～12月	累計(※)	
金属類	0	627.8	0	627.8	0
コンクリート類	0	4.3	0	4.3	0
その他	0	17.7	0	17.7	0

※廃止措置開始(H29.7)以降の発生量

【2号機】

種 類	発生量(トン)		処分量(トン)		期末保管量 (トン)
	6月～12月	累計(※)	6月～12月	累計(※)	
金属類	190.0	190.0	190.0	190.0	0
コンクリート類	0	0	0	0	0
その他	10.4	10.4	10.4	10.4	0

※廃止措置開始(R2.6)以降の発生量

(4) 燃料輸送等の状況(令和2年4月～12月)

① 新燃料(取替用燃料)の搬入

該当なし

② 使用済燃料の搬出

該当なし

③ 低レベル放射性廃棄物の搬出

該当なし

(5)放射性廃棄物の管理状況(令和2年4月～12月)

①気体・液体廃棄物の放出量

種 類	放出量 (ベクレル)	放出管理目標値 (ベクレル／年)
気体廃棄物	2.6×10^8	1.0×10^{15}
液体廃棄物	定量限界未満(※)	7.5×10^{10}

(※)定量限界未満:測定の結果、放射性物質の量が検出できる下限値未満

②固体廃棄物の保管量(令和2年12月末時点)

	貯蔵量(本) (200リットルドラム缶相当)	貯蔵設備容量(本) (200リットルドラム缶相当)
原子炉施設合計	39, 503	約49, 000

(6) 事故・故障等の発生状況

① 安全協定第6条に該当する事故・故障

玄海原子力発電所3号機における火災の発生について

➡ 令和2年9月24日発生。詳細は資料4-3-1で説明。

② 保全品質情報 ⌈ 法令及び安全協定上報告の必要は無いが、電力会社や産学官 で共有することが有益な原子力発電所の保守・運営情報 ⌋ 該当なし

③ その他の情報 ⌈ ①、②に該当しない事象ではあるが、発生について九州電力が 公表したもの(発煙等) ⌋

玄海原子力発電所における気体廃棄物の放出量の誤りについて

➡ 令和2年4月9日公表。(前回の協議会で報告済み)

玄海原子力発電所内におけるクレーン吊荷の落下について

➡ 令和2年4月13日発生。(前回の協議会で報告済み)